

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公開番号】特開 2006-132361 (P2006-132361A)

【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報 2006-020

【出願番号】特願 2004-319983 (P2004-319983)

【国際特許分類】

F 0 4 C 29/00 (2006.01)

F 0 4 C 29/06 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 29/00 B

F 0 4 C 29/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 25 日 (2006.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潤滑油が貯留される密閉容器内に設けられ電動要素により駆動されて冷媒を圧縮する圧縮要素と、前記電動要素により回転するクランクシャフトを軸支する軸受部とシリンダの端面を閉塞する端板部とを有する軸受と、冷媒ガスの吐出ポートを設けた前記軸受の前記端板部に被せてマフラ室を形成するマフラと、前記軸受の前記軸受部と前記マフラとの当接部をシールする弾性部材でリング形状に形成したパッキンと、前記パッキンを装着する前記軸受部の端部に設けられ前記パッキンの外周を囲む周囲壁と、を備え、前記周囲壁の一部に切欠きを形成したことを特徴とする圧縮機。

【請求項 2】

前記切欠きを前記周囲壁の対向する少なくとも 2 箇所に形成したことを特徴とする請求項 1 に記載の圧縮機。

【請求項 3】

前記周囲壁の内周側に、先端に行くに従って広がるように傾斜したテーパを形成したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の圧縮機。

【請求項 4】

前記マフラを装着する前記軸受を焼結金属にて形成したことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか 1 項に記載の圧縮機。

【請求項 5】

潤滑油が貯留される密閉容器内に設けられ電動要素により駆動されて冷媒を圧縮する圧縮要素と、前記電動要素により回転するクランクシャフトを軸支する軸受部とシリンダの端面を閉塞する端板部とを有する軸受と、冷媒ガスの吐出ポートを設けた前記軸受の前記端板部に被せてマフラ室を形成するマフラと、前記軸受の前記軸受部と前記マフラとの当接部をシールする弾性部材でリング形状に形成したパッキンと、を備えた圧縮機の組立方法であって、前記軸受に前記パッキンが装着されていることを検出してから前記マフラを前記軸受に被せて固定することを特徴とする圧縮機の組立方法。

【請求項 6】

前記パッキンを装着する前記軸受部の端部に形成され前記パッキンの外周を囲む周囲壁を

備えるとともに、前記周囲壁の一部に切欠きを形成し、前記軸受の前記周囲壁内に前記パッキンが装着されていることを前記切欠きを介して側方から検出することを特徴とする請求項5に記載の圧縮機の組立方法。

【請求項7】

前記切欠きに光もしくは電波を通過させて前記パッキンが装着されていることを検出することを特徴とする請求項6に記載の圧縮機の組立方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明に係わる圧縮機は、潤滑油が貯留される密閉容器内に設けられ電動要素により駆動されて冷媒を圧縮する圧縮要素と、前記電動要素により回転するクランクシャフトを軸支する軸受部とシリンダの端面を閉塞する端板部とを有する軸受と、冷媒ガスの吐出ポートを設けた前記軸受の前記端板部に被せてマフラ室を形成するマフラと、前記軸受の前記軸受部と前記マフラとの当接部をシールする弾性部材でリング形状に形成したパッキンと、前記パッキンを装着する前記軸受部の端部に設けられ前記パッキンの外周を囲む周囲壁と、を備え、前記周囲壁の一部に切欠きを形成したものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明に係わる圧縮機は、潤滑油が貯留される密閉容器内に設けられ電動要素により駆動されて冷媒を圧縮する圧縮要素と、前記電動要素により回転するクランクシャフトを軸支する軸受部とシリンダの端面を閉塞する端板部とを有する軸受と、冷媒ガスの吐出ポートを設けた前記軸受の前記端板部に被せてマフラ室を形成するマフラと、前記軸受の前記軸受部と前記マフラとの当接部をシールする弾性部材でリング形状に形成したパッキンと、前記パッキンを装着する前記軸受部の端部に設けられ前記パッキンの外周を囲む周囲壁と、を備え、前記周囲壁の一部に切欠きを形成したので、パッキンを容易に装着でき、また、この切欠きからパッキンの外周の一部が覗いて見えるため、パッキンが装着されないままマフラを取付けることがないように防止可能で、品質がよく安価な圧縮機を得られる効果がある。